

生き活きと輝き、誇れるまちの今を伝える

広報湯前

Public
Relations

Since1962.

<http://www.yunomae.com/>
[まちの情報誌ゆのまえ]

10 TheMonthly
Oct_2017
Vol.436

特集 ふるさと納税
ふるさと応援団！



食への信念を
つらぬき続けた幸さん。
青年たちの声に乗せて、
今、その思いが
「つながる」――



山北幸物語を朗読劇に／
湯前町青年団
9月2、3日に開かれた球磨郡青年団協議会文化祭。舞踊やダンス、合唱など各団が練習の成果を披露。湯前町青年団はことし朗読劇に挑戦した。テーマは下村婦人会の生みの親、山北幸さん。相手を思う、食のこだわりを声に乗せて会場に届け、見事優勝をつかんだ。

広報湯前 2017 Vol.436 10



今月の表紙

ことし7月から始まった「いきいきかようクラブ」では、65歳以上の町民が体操したり健康についての講話を聞いたりして、介護予防に取り組んでいます。参加者同士の会話も多く、みんなが笑顔。参加者の「いきいき」が健康につながっています。

広報湯前は毎月1回発行しています。広報誌は湯前町のホームページでも見ることができます。ぜひ、町と人の“生き活きと輝く今”をパソコンやスマートフォンでもお楽しみください。http://www.yunomae.com/

CONTENTS

04 ふるさと納税特集	ふるさと応援団！	22 ズームアップ	災害ボランティアセンター設置訓練
14 クローズアップ	金婚・ダイヤモンド婚夫婦表彰式 100歳到達者表彰	23 文化のタカラ カルチャー+	
16 ホットピ！	第53回秋季球技大会 いきいきかようクラブ	24 ライフニュース	B&G、保健師、管理栄養士のコーナー 今月の行事予定、戸籍の窓
18 マンスリートピックス	教育振興会研修会 情報発信能力向上講座 湯前中2年生職場体験 小林製薬が湯前小に洋式トイレを寄贈 第67回湯前町敬老会	26 コミュニティ& コミュニケーション	協力隊'sEYE 婦人会だより 編集後記 今月のゆのまえがお
20 インフォメーション	ゆのまえ漫画フェスタ開催 久米田康治のかくしごと展 読書のススメ、エコログ	28 フォーカス	服部美来さん

ふるさと応援団！

特集 ふるさと納税

近年、多くの自治体で取り組んでいる「ふるさと納税」。どこにいても、簡単に地域に貢献できることから、年々、その数が増え、湯前を応援してくれる人も増えています。本町のふるさと納税の現状はどうなっているのでしょうか？今回はふるさと納税と生産者について見ていきましょう。

地域を応援する制度

ふるさと納税は、応援したい自治体に寄附をする制度。自分が育ったふるさとやお世話になった地域に寄附をして申告することで、税金の一部が控除されるものです。

現在、働く場所や生活の環境などから都市部に人口が集中。都市部に人が出ていくことで、地方の税収が減ってきています。総務省は都市部から地方に税を還元する仕組みをつくろうと平成20年からふるさと納税制度を始めました。

寄附先の数や金額、回数に上限はなく、寄附した人の控除の上限額内であれば、実質2000円で複数の地域を応援することができます。おとしから「ワンストップ特例制度」が始まり、会社員などの給与取得者は、寄附した自治体が五つまでであれば確定申告が不要になったため、さらにふるさと納税が身近になりました。

寄附は子育てや教育、福祉

などの使い道が分けられていて、寄附した人がお金の使い

道を決めることができます。ふるさと納税の特徴。東日本大震災や熊本地震などの被災地支援にもこの制度が役立てられました。

お互いが幸せに

ふるさと納税はお礼品を樂しめることもあり、全国的に注目を浴びています。肉、魚米などの食材や工芸品だけでなく、宿泊券や優待券などの現地体験できるものもあり、多くの自治体が地元名物をお礼の品として寄附した人に贈呈。全国に地元の魅力をアピールできる貴重な機会として力を入れています。

町外に住む人が、お礼品で今まで知らなかった地域の魅力に気づき、地域づくりや地元の商工業に貢献。地元の生産者は商品のPRをしながら売り上げを伸ばすことができます。寄附した人も地元の生産者もお得になれるのが、ふるさと納税の魅力です。

昨年4月から急増

本町でも平成20年からふるさと納税を開始。平成27年12月から、インターネット上のポータルサイト「さとふる」で、お礼品の掲載を始めました。平成26年度の寄附の総額は124万円、平成27年度は961万円でしたが、昨年4月から申し込みが急増。4月から7月のわずか3カ月間で1451万円。1年間で5694件、8860万円になりました。ことし4月から7月の寄附件数は1204件、1832万円と昨年より増えています、2年連続で好調ぶりをみせています。

同3カ月間の寄附の内訳は4割強が関東からの寄附。近畿や中部からの申し込みもたくさんありました。ふるさと納税を通じて、遠く離れた場所から湯前を応援してくれる人が増えています。寄附者が決めたお金の使い道は、「町にお任せ」が7割強を占め、次に「福祉関係」「教育関係」が続いています。



ふるさと納税の寄附金額の比較(4~7月)

	H29年度		H28年度	
	件数	金額	件数	金額
ポータルサイト	1199件	1669万円	990件	1306万円
窓口	5件	163万円	7件	145万5000円
計	1204件	1832万円	997件	1451万5000円

ことしは件数、金額ともに昨年を上回る好調ぶり



平成27年から湯前のお礼品を掲載しているポータルサイト「さとふる」。本町のページにいくと町の風景が広がり、その下にお礼品が並んでいる

お礼品目と協力事業所

区分	事業所
焼酎	林酒造、豊永酒造
加工品	下村婦人会
菓子	クマレイ、兼田製菓舗 庄籠製菓舗
肉	Aコープくま、球磨畜協 観光物産協会
特産品	上米良鍛冶工場、観光物産協会
工芸品	くま川鉄道、湯楽里
グッズ	観光物産協会
宿泊券	湯楽里
米・雑穀	農業公社、観光物産協会
ブドウ	久保田ぶどう園、金子ぶどう園 園伊藤ぶどう園、東ぶどう園
家具、木工品	球磨プレカット
旅行商品	くま川鉄道

湯前の お礼品

ふるさと納税に
かかわる生産者
が作り出す魅力

本 町でふるさと納税のお礼品を提供し始めたころは9事業所の17品を用意していましたが、協力する事業所が増えていき、現在は18事業所の製品75品がずらりとポータルサイトに並んでいます。中でも牛肉や焼酎、米・雑

穀、ブドウが多くの人気を集めて、注文が殺到。寄附の件数を伸ばしている大きな理由となっています。ことし4月には、南稜高校の生徒が農薬や化学肥料を使わず、自然農法で作る「南稜米30^キ」を、5月にはおっぱいの神様で知られる潮神社にちなんだ絵馬やストラップ、菓子などを詰め合わせた「おっぱい神社の代理奉納セット」を追加。6月には球磨プレカットが球磨杉を加工した「くま産杉のしっかりベンチ」を追加しました。7月には季節のブドウや新米の掲載を再開し、くま川鉄道の田園シンフォニーで行く「日帰りご利益ツアー」や、ゆのまえ温泉「湯楽里」のロフト付きゲストハウス宿泊券などの商品も掲載。お礼品はまさに湯前の魅力を堪能できるものになっています。

一つ一つ手をかけた ブドウは盆地の 寒暖差でうまみ凝縮

久保田ぶどう園

くぼた さとし
久保田 諭さん (47=野中田1)



盆地の寒暖差でうまみが凝縮された湯前ブドウ(写真はロザリオピアンコ)。久保田さんは約12種類を販売し、さらに4~5種類を試験的に栽培。おいしいブドウを作るために、挑戦を続けている



8月上旬から9月下旬にふるさと納税の多くの割合を占める町特産の「ブドウ」。約50年続く久保田ぶどう園を現在経営するのは久保田諭さん。130^アの農地で年間1500^キのブドウを生産しています。

同園では多くの品種を育てていて、8月には巨峰、ニューベリーA、シャインマスカットなど9種類を、9月には、甘みの強い瀬戸ジャイアンツ、さわやかな風味の甲斐乙女、すっきりとした甘味のロザリオピアンコの3種類を販売。

現在、人吉球磨や鹿児島方面を中心に出荷し、国道219号沿いにも店を構えて、販売しています。

球磨郡は雨が多く、雨に弱いブドウを育てることが難しい地域。ブドウは品種の多さからそれぞれで作り方や気候の条件も違い、栽培する技術も必要です。しかし、盆地の朝晩の寒暖差が、一粒一粒のうまみを凝縮させ、生産者が一つ一つ手をかけて育てたブドウは味のノリが良く、町内外から高い評価を得ています。

久保田さんは土作りからブドウ

のおいしさを追求します。米ぬかや油かすなど肥料の材料を研究し、有機農業に挑戦。今よりブドウの苦味や渋みをなくそうと、さらに上を目指し日々励んでいます。

「いろんな品種を楽しめることがうちの特徴。おいしいブドウを食べてもらったときのお客さんの一言がうれしい。ブドウは品種がとても多いので、まだまだいろんな品種を作って、皆さんへ提供していきたい。失敗もするが、良いものを作るために挑戦し続けたい」と意気込みを語ります。

杵と石臼で最大限に 引き出された米の恵

杵つき精米所
湯前町農業公社

日本三大急流の一つ、球磨川。上流に位置する本町では、幸野溝や蓑谷ため池などから良質な水を田に引くことでおいしい米ができています。

平成24年に野中田1区の国道219号沿いに杵つき精米所が完成し、現在湯前町農業公社が管理しています。

「他の米と食べ比べてみると明らかに違う。県外のレストランからも注文があるほど、湯前のお米は

人気がある」と話すのは、作業員の金子重實さん。

杵つき精米機は、8基の石臼と杵つき棒があり、モーターの動力で歯車が回る仕組み。1基あたり、一度に精米できる量は15^キ。完成するまでに4~5時間を要し、途中2回、臼から上げてふるいにかけてぬかを落とします。通常、精米するときは機械で米に熱や圧力を加えて短時間で仕上げるため、もっとも栄養分が凝縮された胚芽

までそぎ落としてしまいます。

杵つき精米では、胚芽を残しながらもぬかだけをそぎ落とすことが可能。さらにぬかのうま味や風味が米に染み込みます。金子さんは「杵つきと普通に精米したぬかでは、ぬか自体の甘さが段違い。米もそれだけおいしく仕上がっている」と違いを語ります。杵つき精米は、栄養分、うま味、風味ともに本来のお米の味を楽しむことができます。



1 杵と石臼で4~5時間精米。栄養、風味、うまみが段違い 2 杵でついたばかりの米(左)とぬかをとったあとの米。精米の調整も可能 3 杵つき精米所で作業する金子さん。「昔ながら」の良いところを今の生活へ活かそうとしている





後を引くようなうまみで、一日の疲れをいやしてくれる林酒造の焼酎。ラベルに刻まれる「適飲保健」はまさに飲む人のことを思いやる気持ちがつまっていることを表している

球磨焼酎

伝統を受け継ぎ、

さらに進化する——



米焼酎は球磨産米。原料からこだわり抜かれた焼酎がずらりと並ぶ豊永酒造。全国の頂点にたった「常圧豊永蔵」だけでなく、数々の焼酎が毎回全国で高い評価を受け、その味が認められている

適飲保健、一日の疲れをいやす「極楽」

代表銘柄の米焼酎「極楽」を中心に、常圧・減圧など6種類を製造する林酒造。数ある球磨郡の蔵元の中でも長い歴史を持ち、300年以上続く蔵元で、現在、14代目となる展弘さんと弟の泰広さんら家族で経営しています。

「市房の雪が積もるころ」。焼酎の仕込みは11月から始まり、翌年のゴールデンウィークまで続きます。近年は減圧製法の焼酎だけでなく、常圧製法の焼酎も人気。

極楽のラベルには「適飲保健」の文字。林さんは「『酒は憂いの玉箒』。人の心を優しくなでてくれるような焼酎を目指している」と目標を語ります。極楽の特徴は後を引くうまみ。コップ一杯で気分が和らぎ、疲れが癒えるような味で、その香りは、湯前の風情や人間を思い浮かべるような懐かしさもあります。

林さんは「焼酎造りには気持ちも大事。いらいらしたり、いじけたりしたりせずに良い気持ちで作ること。作り手の気持ちが焼酎の味にもかかわってくる。仕込みのときは4000℃のもろみをかき混ぜるので、冬でも汗だくなるほどきついですが、常に『おいしくなれ』と気持ちを込めることを心がけている」とおいしさの秘訣を語ります。

「湯前は米も野菜もおいしい。極楽がおいしいから湯前の米もおいしそうだと思うようなものを作り続けて、地域を盛り上げたい」。

新しいことにも挑戦し続け、少しずつ形になってきたという林さん。極楽は今日も人の暮らしに寄り添っています。



林酒造
はやしのぶひろ
林 展弘さん(49=下城)

全量が球磨産米 全国の頂点に立った「豊永蔵」

代表銘柄の「豊永蔵」を中心に米、芋、麦など約15種類を製造している豊永酒造。明治27年に創業した酒造を継ぐのは4代目の豊永史郎さん。

同酒造の米焼酎「常圧豊永蔵」がことし春の全国酒類コンクール(全日本国際酒類振興会)で、焼酎、日本酒、地ビールなど13部門336点中、1点のみに与えられる「第1位特別最高賞」を初受賞。減圧製法の「豊永蔵」や麦焼酎「麦汁」も第1位を獲得するなど、全国にその味が認められています。

常圧豊永蔵は地元球磨産の有機JAS認定米を原料に造り上げられた本格米焼酎。常圧ならではのコクと香ばしい香り、柔らかな味わいが特徴です。豊永さんは「おいしい焼酎を造り続けるために、コンクールに出品している。第3者の評価をしっかり受け止めて、常に緊張感を持って焼酎造りに取り組んでいる」と真摯な姿勢で励んでいます。

焼酎造りのこだわりは原料から。平成2年に米焼酎の原料として球磨産の有機米を使い始め、12年前から全量を球磨産の米で製造。豊永さんは「米がお金と同じように扱われていた時代から、米で焼酎を作ることができていたのは、この地域が豊かだったから。田に住む微生物を活かした有機農業を行うことで、この土地が持つ本来の力を発揮することができる。すばらしい湯前の風土がおいしい焼酎の元になっている」と話します。

500年続く球磨焼酎の歴史を未来へ——。豊永さんは焼酎の伝統をつなぐために、社員とともに汗を流しています。



豊永酒造
とよなが しろう
豊永 史郎さん(59=上里2)
はるか
遼さん(32)※右



保存料も添加物も使わない昔ながらの知恵と工夫で食べる人のことを考えた漬物を作り続ける下村婦人会。柚子こしょうなどの柚子を使った商品も人気。湯前の米と漬物の相性もばつぐんだ

食べる人へのやさしさ込めて

下村婦人会 市房漬加工組合 代表 池田 タメ子さん(75=下村)

市房漬をはじめ、約25種類の商品を手がける下村婦人会の理念は「安全であること」「ごまかしのないこと」「味のよいこと」「価格が妥当であること」。その一つ一つは保存料も添加物も使わずに作り上げた、湯前の母の味です。

初代会長の山北幸さんの思いを受け継ぎ、3代目代表となったのは池田タメ子さん。地元農産物を使い、「味噌を作るときは防腐剤の代わりに焼酎を入れる」などの伝統を守りつつ、時代の流れに合わせた商品を作っています。ふるさと納税では下村婦人会の漬物・味噌・農家公社の米セットが人気。なつかしのふるさとの味を求めて遠くから買い求める人もたくさんいます。池田さんは「お客さんから『おいしかった』『ことしも待っています』などと声をかけてもらうこともある。今後も、食べる人のことを考えながら商品づくりに励みたい」。下村婦人会の商品は食べる人へのやさしさでできています。

球磨杉の香りや色を楽しみ 強度も「しっかり」!

球磨プレカット 石井 一三さん(38=中里2)

本町は全面積の74%を森林が占め、スギやヒノキなどの豊富な森林資源があります。球磨プレカットでは大工などの職人が建築現場で手作業していたものを機械化。コンピューターで木材を加工して、主に建物に使うための製品を作っています。

同社の石井一三さんは「木材はすべて割れや曲がりがないか、厳密なチェックをし、すばやく届ける事を心がけている。お客さんに100%満足してもらえるものを作りたい」とこだわりを話します。ふるさと納税には球磨杉のベンチを出品。球磨杉は赤・白の色合いのバランスがよく、強度もある良質な木材。ベンチは球磨杉の間伐材を90度の木材に加工。座ったときに分かる安定感。球磨杉の色合いやふし、香りや、つるつるとしたはだざわりも楽しむことができます。



球磨杉を身近に楽しむことができるベンチ

作り手の心が光る——

巧の技



幸せを願う作り手の思いが詰まっている小物

幸せの願い届く 「おっぱいストラップ」

かぼちゃの家 代表 東 明美さん(55=中里2)

通称「おっぱい神社」として子宝や子育て、安産などにご利益がある潮神社。地域活動支援センター「かぼちゃの家」では潮神社にちなんだ「おっぱいストラップ」や奉納用の「おっぱい絵馬」などの小物づくりを手がけ、各種イベントや湯〜とびあ、湯楽里などの町内施設でも販売しています。

手作りにこだわり商品の外装の和紙やロゴスタンプまで自作。潮神社に関連する小物はすべて潮神社で安産祈願を行ってから販売しています。

代表の東さんは「小物をもらった人からおかげさまで赤ちゃんができた、お産が軽くなったなどと、たくさんお礼をもらうことがとてもうれしい」と思いが届くことを喜びます。かぼちゃの家の小物には幸せや喜びを願う気持ちが詰まっています。

追求された切れ味と使いやすさ

上米良鍛冶工場 上米良 秀人さん(58=中里2)

昭和4年創業の上米良鍛冶工場。3代目の上米良秀人さんは包丁やナイフ、農具や山林道具など100種類以上の刃物を手掛ける名職人。全国の宮大工や造園業の職人がリピーターとなっていて、ふるさと納税の包丁セットも人気です。

刃物の重さや長さ、厚さをミリ単位で相手の要望に合わせる技術と思い。上米良さんは「使う人の手の大きさや形、使い道によっても『使いやすさ』が変わってくる。一人一人に合わせた、使いやすく切れる刃物を目指している」とこだわりを語ります。

上米良鍛冶屋では、現代の刃物に多く使用される「利器材」を使わず、一からハガネと鉄を接合し刃物を制作。一つ一つが手間と時間をかけた「本物」。その切れ味は折り紙つきです。



柄にシカの角を使用したレジャーナイフ。自慢の切れ味もさることながら、デザイン性も魅力の一品





「よかもん」を
広める、あなたが、
まちの応援団――



町外のお知り合いにふるさと納税をすすめてみませんか？

■申し込み方法

総務課に置いてある申込用紙に記入し、総務課に直接持ち込むか、郵便、ファックス、電子メールで提出してください。申込書は町ホームページからダウンロードすることもできます。

インターネットから気軽に申し込み！ふるさと納税ポータルサイト「さとふる」からも申し込みができます。

■納付方法

銀行振込、納付書払い（ゆうちょ銀行・郵便局で納付）、現金書留のいずれか。ふるさと納税ポータルサイト「さとふる」から申し込むとクレジットカード決済やコンビニ決済などもできます。

■お礼品の贈呈

寄附した金額に応じて、湯前の特産品の中から、希望の1点をお礼品として贈呈。1万円以上から10万円以上まで5つの区分があります。くわしくはふるさと納税ポータルサイト「さとふる」の湯前のページをご覧ください。

※お礼品の贈呈は、町外にお住まいの人のみ

問い合わせ 総務課企画振興係 (Tel.0966-43-4111)
ふるさと納税ポータルサイト「さとふる」 <https://www.satofull.jp/town-yunomae-kumamoto/>

湯前への寄附を
お待ちしております！



総務課企画振興係
勘米良 康隆さん

ことは協力してくれる事業所の数が増えたり、セットの商品を増やしたりしたこと、目標を超える年間1.2〜1.3億円ほどのペースで推移しています。ポータルサイトは店頭と同じです。単に商品掲載するだけでなく、サイトを見て町をイメージできるような焼酎や農業、ものづくりなどコンセプトをまとめて作りこみ、生産者の話を聞いて、ものづくりの背景を伝えられるようなキャッチコピーや説明をつけています。

ふるさと納税が増えることで教育や福祉など行政のサービスに使えるお金が増えますが、一時的なものにならないようにするには、いかにリピーターを増やすか。商品づくりやブランド化を進め、ネット販売など販路を広げることが必要です。何が流行なのか、時代を先読みし、もともと持っている商品やそれぞれの能力を時代に合わせて更新していくこと。商品が全国に知られることで町の知名度も上がってきます。

町民がふるさとへの「誇り」に気づき、広めること



地域おこし協力隊
ふるさと納税担当
いばえみ
射場 絵美さん
(41=中里2)

熊日金婚夫婦表彰状伝達式・ダイヤモンド婚夫婦表彰式 ともに歩んだ50年・60年に感謝



金婚夫婦表彰を受けた9組



ダイヤモンド婚夫婦表彰を受けた3組

平成29年度熊日金婚夫婦表彰状伝達式とダイヤモンド婚夫婦表彰式は9月14日に保健センターで開かれ、金婚夫婦(結婚50年)9組とダイヤモンド婚夫婦(結婚60年)3組が出席。長年支え合いながら地域に貢献した功績に表彰状や記念品が贈られました。

金婚表彰は昭和42年度、ダイヤモンド婚表彰は昭和32年度に結婚し、町内に住んでいる夫婦が対象。熊本日日新聞社事業局次長の池下敬一郎さんが金婚夫婦一組ずつ

に表彰状と記念品を手渡し、「ともに歩んできた50年という節目は大切な思い出。今日は二人の歩みに感謝する日にしてほしい」とあいさつ。ダイヤモンド婚夫婦へ表彰状を手渡した鶴田正已町長は「一人として同じ人生を歩む人はおらず、二つとないご縁があって長い歳月を過ごしてこられた。これからも長く元気に、地域を見届け、支えていただきたい」とあいさつしました。

表彰者を代表して柿川大和さん

(77=下村)が「これまで一緒に妻と過ごしてきたが、残された人生をどうやって生きていくかが大切。その意味をかみしめながら、一步一步前へ進んでいきたい」とあいさつしました。

出席した12組の夫婦は食生活改善推進委員(亀山あやめ会長=12人)が真心を込めて作った料理で会食。結婚当時の町の様子などを映像で見ながら、当時の記憶を呼び起こしていました。

100歳到達者表彰

100歳、高橋イワエさんに 内閣総理大臣表彰

本年度100歳になる町民の表彰式が9月12日に多良木町の介護老人福祉施設「シルバーエイト」で開かれ、高橋イワエさん(100=馬場)に内閣総理大臣からの表彰状と町からの記念品が贈られました。

熊本県球磨地域振興局総務福祉課長が内閣総理大臣の表彰を高橋さんに伝達。鶴田正已町長は「お元気でいてくださいね」と花束と記念品を渡しました。高橋さんは家族とたくさんの利用者に囲まれる中、表彰状を受け取り、拍手をして受賞を喜んでいました。高橋さんの長寿の秘訣は「よく食べてよく笑うこと」。踊りも得意で、車いすに乗りながら、手を上手に動かしていました。

なお、9月15日には特別養護老人ホーム「福寿荘」で敬老祝賀会が開かれ、賀寿を迎えた23人が鶴田町長から記念品を受け取り、ボランティアグループ「ひまわりの会」のアトラクションを楽しみました。



1表彰者を代表して関係者にお礼を伝えた柿川さん 2池下事務局長から表彰状を受け取る渋谷さん

金婚夫婦 (結婚50年・10組)		
※昭和42年度結婚		
渋谷 洋政・香さん	(瀬戸口)	
那須 登仁男・勇子さん	(下染田)	
大石 喜八郎・ミトメさん	(下村)	
桑原 征一郎・リツさん	(上里1)	
権頭 辰義・ヒサエさん	(中猪)	
園田 廣善・八千代さん	(上里1)	
柿川 大和・キヨ子さん	(下村)	
丸山 羊一・キヨ子さん	(上里2)	
赤城 貞夫・日出子さん	(古城)	
椎葉 武馬・スミ子さん	(中猪)	
ダイヤモンド婚夫婦 (結婚60年・3組)		
※昭和32年度結婚		
湯前 敬・テル子さん	(古城)	
板垣 博・ハルノさん	(野中田1)	
野田 止・アツ子さん	(馬場)	

100歳以上の町民

- 105歳 松本シヅエさん (福寿荘)
- 103歳 福屋ハルヨさん (福寿荘)
- 102歳 平井 ミヨさん (上村)
- 102歳 岩本 ナツさん (古城)
- 101歳 山田 コトさん (福寿荘)
- 101歳 安藤 文さん (福寿荘)
- 101歳 高橋イワエさん (馬場)

※ことし9月29日時点



内閣総理大臣表彰を受け取る高橋さん



1 みんなで体を動かすと、習慣も身につくやすくなる2ひざを抱えてストレッチ。イスに座りながら体操ができる3おもりを使うなど、自分に合わせた運動をすることができる4テレビ画面を見ながら体を動かす、いきいき百歳体操5人が来ると会話もはずむ。自然と笑顔があふれる参加者



Hotopi!
ホットなわだいをあなたへ



1わずかな力加減が難しい。喜びのためいきが飛び交うグラウンドゴルフ2強烈なスパイクで連続得点を重ねる選手3間に落ちるボールをナイスレシーブ！4ナイスプレーには拍手で喜ぶ(ソフトバレーボール)5競技開始。秋季球技大会の開催は2年ぶり。バレーボールで地区同士の戦いが始まった



Hotopi!
ホットなわだいをあなたへ

No.2 いきいきかようクラブ 町の介護予防で「いきいき！」

ことし4月から本町で、地域の実情に合った「生活支援」や「介護予防」を行っていく「介護予防・日常生活支援総合事業」(新しい総合事業)が始まりました。

65歳以上の人のうち、介護保険の要介護認定で「要支援」の認定を受けている人や、生活機能が低下してきた人の機能回復や改善を目指すもの。平成27年度に介護保険法の一部が改正されたことで、自治体を中心となって、住民主体の介護予防を進めています。

内容はホームヘルプサービスやデイサービスなどの「介護予防・生活支援サービス」と各地区の健康教室やプールでの水中運動、男性料理教室などの「一般介護予防」の大きく2つに分かれています。

介護予防・生活支援サービスは要支援1、2の認定を受けた人や生活機能が低下してきた人が受けることができ、一般介護予防は65歳以上のすべての町民がサービスを受けることができます。

町全体で「いきいきクラブ」一般介護予防の一つ、「いきいきかようクラブ」が7月11日から保健センターで始まり町民が楽しく介護予防に取り組んでいます。

住民の「通いの場」をつくり、町全域で介護予防に取り組むために町が支援。現在、上村の「いきいき毘沙門クラブ」野中田2の「いきいき振興館クラブ」など、町内6地区でもそれぞれ愛称をつけて毎週一回開かれています。

いきいきかようクラブでは、専門家の講話や「いきいき百歳体操」などの介護予防の体操、定期的な体力測定を実施。毎週火曜日午後1時30分に開かれていて、65歳以上の7人が参加しています。参加した愛瀬久美さん(66歳下城)は「何か外に出て活動しようと思っていた。軽い運動でも、良い運動になっていて、参加することが楽しい」と話していました。

No.1 第53回秋季球技大会 汗流し、笑顔あふれる交流



ネット上で繰り広げられる激しい攻防

第53回秋季球技大会は9月3日、町内4会場で開催され、3種目に541人が参加し、汗を流して笑顔で交流を深めました。B & G 海洋センターで行われたソフトバレーボール競技では馬場が8連覇を達成、バレーボール競技は上里3が優勝しました。グラウンドゴルフでは田上Aが2位の上里1と8打差をつける206打で優勝しました。参加者たちは良いプレーが出るかとみんなで喜び、「珍プレー」が出ると笑いあって、地区のきずなを深めていました。

- ③ 瀬戸口
// 野中田3
- ※10地区/80人
- 1部
- ① 馬場A
② 野中田1
③ 下里田
// 下里
- ※21地区/281人
- ① 田上A 206打
② 上里1 214打
③ 上・中猪A 215打
- ① 上里3
② 植木
- ※12地区/180人

洋式トイレをプレゼント！ 小林製薬が湯前小で贈呈式

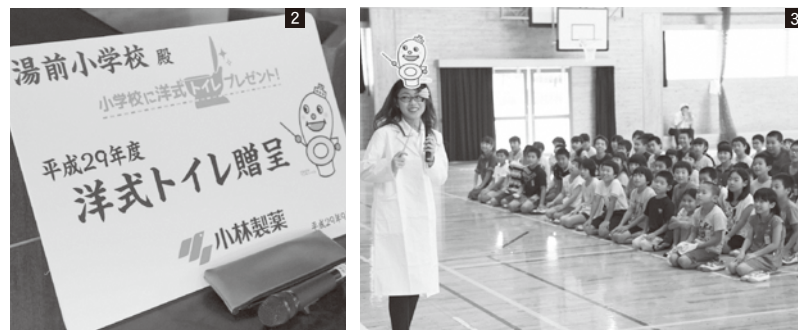
小林製薬(本社=大阪市)は9月6日に洋式トイレの贈呈式を湯前小学校体育館で開き、湯前小児童182人へ洋式トイレ2基を贈りました。

医薬品や衛生材料などの製造・販売をてがける同社が子どものトイレの悩みを解決しようと平成22年から取り組むもの。通年10校ずつ寄贈をしていましたが、本年度中に全国100基の完成を目指し、こしは全国20校の小学校で実施。

湯前小は児童一人当たりの洋式トイレの数が少ないことや、昨年熊本全体が地震で被害を受けたことなどの理由で選ばれました。

工事は夏休み期間中に行われ、保健室前の男女トイレを1基ずつ洋式化し、床を乾式にしたり、足形シールを張ったりして、よりきれいに使えるようになりました。

贈呈式では同社広報総務部長の山田繁紀さんが「学校の和式トイレを使うことに悩みがあるということを知ってプレゼントさせてもらった。暗い、汚いというイメージを変えて、明るいイメージにした。トイレを長く、きれいに使ってほしい」とあいさつし、大谷咲弥さん(同校6年=野中田1)と菅原浩子校長に記念パネルを贈呈。大谷さんは「すてきなトイレをありがとうございます。大切に使用していきます」とお礼を伝えました。贈呈式後には社員らがトイレについての特別授業を開催しました。



1 小林製薬の山田部長から記念パネルを受け取る大谷さんと菅原校長 2 小学校に贈られた記念パネル 3 同社営業部の社員がトイレについての特別授業を児童へ行い、児童たちは笑顔で講演を聞いた

9月6日(水)

コミュニティスクールの理解を深める 湯前町教育振興会研修会

湯前町教育振興会(中村和弘会長)の研修会が8月28日に保健センターで開かれ、教育関係者38人が、「コミュニティスクール」(CS)への理解を深めました。

同会は教育関係者が連携を深めて学校教育を充実させるために、教育委員会や湯前小・中学校の教諭、両PTAなどにつくられています。本町は地域の意見や保護者の要望を学校の運営に反映させるCSの設置を来年2月に予定。会員がCSを学ぶ機会として研修会が開かれました。

球磨・芦北・八代の県南地域を担当している県統括コーディネーターの浅野一登さんが「CSについて~これからの『地域と学校のあり方』~」の演題で講演。浅野さんは地域で目標を共有するためによく話し合うことの大切さを参加者へ説いていました。



コミュニティスクールの説明を受けた会員ら

8月28日(月)

ビジネスやイベントに活用！ 情報発信能力向上講座

情報発信能力講座の第1回が9月4日に湯前町役場で開かれ、住民や関係者ら17人が統計データをまちづくりに活かす手法を学びました。

趣味や仕事などで活かすことのできる情報発信の能力を高めてほしいと本町が主催しています。こし11月までに3回の講座が開かれる予定です。

第1回は「データを活用した地域づくりを考えよう」をテーマに、ローカルメディアラボ代表の牛島清豪さんが講師を務めました。参加者はパソコンやタブレットを使いながら、国の地域経済分析システム(RESAS)の使い方を学びました。昼や夜の人の動きなどがさまざまな統計データが分かることから、参加者はビジネスやイベントへの活用方法を考えていました。



リーサスを使った情報発信を学ぶ参加者

9月4日(月)

300人が集まり交流 第67回湯前町敬老会

第67回湯前町敬老会は9月10日に農村環境改善センターで開かれ、75歳以上の町民約300人が食事やアトラクションを楽しみました。

敬老会は地域婦人会(橋田實子会長)が主催。会長の橋田さんは「毎年皆さんの笑顔に会えるのを楽しみにしている。この会場で、お互いの健康をたたえ合い交流を深めてほしい」とあいさつ。代表して浦田節子さん(75=野中田3)が記念品を受け取り、90歳以上と95歳以上にもお祝いの品が贈られました。

参加者代表の丸山羊一さん(75=上里2)が「これからも健康に注意して、来年また元気で皆さんに会えるのを楽しみにしている」とあいさつ。参加者は昼食をほおぼりながら、綾小路きみまろさんのそっくりさん、綾小路きみまねさんのショーを楽しんでいました。



代表して記念品を受け取る浦田さん

9月10日(日)

仕事のやりがいを感じる 湯前中2年生職場体験

湯前中学校(古家慎也校長)の職場体験が9月6、7日の2日間で行われ、2年生38人が町内外の事業所で汗を流していました。

生徒が地元で働くことのやりがいや苦勞を学べるように毎年行われ、こしは保育園や福祉施設、飲食店や自動車整備工場など、町内を中心に20事業所で体験が行われました。

特別養護老人ホーム「福寿荘」では、土屋星名さん(同校2年=浜川)と吉永百花さん(2年=上里3)が利用者の介助やレクリエーションの準備などをしました。二人はレクリエーションの間にも積極的に利用者とは話し、利用者の笑顔を引き出していました。土屋さんは「介助は難しく、大変さが分かったけれど、利用者の皆さんと楽しく交流ができてよかった」とやりがいを感じていました。



利用者に寄り添い、仕事のやりがいを感じた生徒

9月6日(水)~7日(木)

10/15(日)まで
「さようなら絶望先生」などの原画を九州初公開

久米田 康治のかくしごと展 開催中!

昨年の「ゆのまえ漫画フェスタ」にも出演した漫画家の久米田康治さん。1990年代週刊少年サンデーで「行け!! 南国アイスホッケー部」を連載。週刊少年マガジンでは「さようなら絶望先生」を連載。昭和ノスタルジックな世界観と現代風刺を取り入れたショートコメディは全30巻の長期連載やアニメ化も果たしました。現在、月間少年マガジンで連載中の「かくしごと」など、久米田さんの最新作にいたるまでの作品や原画を九州初展示。ぜひ、まんが美術館で久米田さんの世界観を味わってみませんか?

- 期 間 ~10月15日(日) 展示中は無休
- 開館時間 午前9時30分~午後5時
- 観 覧 料 高校生以上 300円 小・中学生 100円

問い合わせ 教育委員会

2017ゆのまえ漫画フェスタ開催!!

- と き: 11月12日(日)
- と ころ: 湯前まんが美術館一帯

午後2時~

MIQ (聖戦士ダンバイン主題歌など)&谷本貴義 (ドラゴンボール改主題歌など)アニソンスーパーライブ

午前11時15分~

人気漫画家や声優も来場!!

- 漫画家 村枝 賢一 (新・仮面ライダーSPRITSなど)
- 皆川 亮二 (ARMSなど)
- 東 毅 (電波教師など)
- 橋口たかし (最上の命医など)

声優 関 智一 (ドラえもん「スネ夫」役など)

※前日の11月11日(土)、午後3時から農村環境改善センターで5人による前夜祭も開催!入場は無料です。ここでしか聞かないことのできないトークや画力対決をぜひお楽しみください!

その他、有志によるコスプレや仮面ライダー「ビルト」ショー、大人気の畜産コーナーや林業コーナーなど盛りだくさん!



主催 ゆのまえ漫画フェスタ実行委員会 問い合わせ 産業振興課観光推進係

ECOLOG 9月のごみ情報

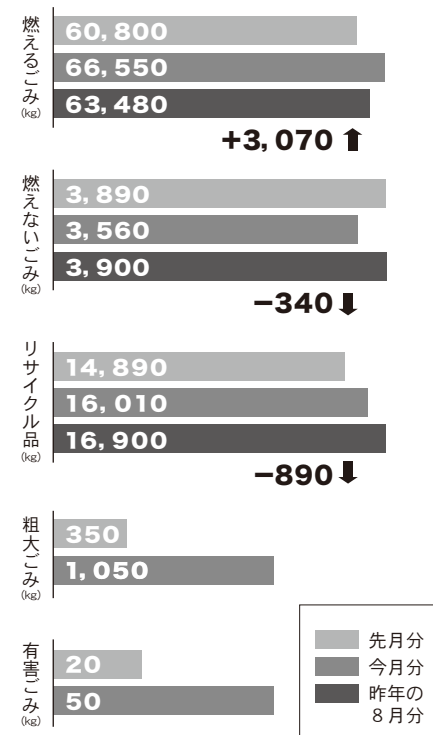
※10月の不燃物収集は4日・18日です(第1・第3水曜日)
※10月9日(月)体育の日のごみ収集は、いつもどおり収集します。(月・木収集地区)

「3切る」運動でごみ減量!

家庭から出るごみの中で、大きな割合を占めるのが「生ごみ」。生ごみを減らすための「3切る」運動で、ごみ減量にご協力をお願いします。

1. 買った食材を『使い切る』
 - ・ 買い物前には冷蔵庫をチェック
 - ・ 献立を考えて、使う物だけを購入
 - ・ 野菜、果物は正しく保存し、肉、魚の残りは小分けして冷凍
2. 調理したものは『食べ切る』
 - ・ 冷蔵、冷凍保存した残り物も忘れずに食べる
 - ・ 食べ残した物を、他の料理に作りかえる工夫を考える
3. 生ごみは『水を切る』
 - ・ 水気を切って、重さを減らし、臭いの元を断つ
 - ・ 調理するときに、生ごみを濡らさない
 - ・ ごみ袋に入れる前は、ギュッとひとしぼり

☆リサイクルステーションからのお願い!
※先月、アルミ缶のところに汚れたスチール缶がたくさん入れてありました。きれいに洗って入れてある物まで汚れてしまいます。アルミ缶、スチール缶、びん類は、きれいに洗って乾かしてから出してください



BOOKS

読書のススメ

中央公民館図書室 ※貸出期間 2週間/一人5冊まで
○平日 午前8時30分~午後5時 ○土日・祭日 午前9時30分~午後5時
【問い合わせ】教育委員会 Tel.0966-43-2050



つむぎ出す友情、魔法、大騒動の冒険物語
ファンタスティック・ビーストと魔法使いの旅 JK.ローリング(著) 静山社

とてもめずらしい、貴重な魔法生物を探しての旅。探検家で魔法動物学者のニュート・スカマンダーは、地球一周の旅を終えたばかり。ニューヨークに降り立ったが、カバンを取り出しがえられ、幻の動物が街に逃げだしてしまっ



やさしくて本格的な教室

みんなのイラスト教室 中村 佑介(著) 飛鳥新社
もっと人に見てもらうには? プロのイラストレーターになる方法は? 多数の疑問と実際の生徒作品を元に、アイデアと知恵を伝授。進路相談や著者自身のラフ画の紹介など、バラエティ豊かな全130ページ。



親子そろって優しい気持ちになれる一冊

どうぞのいす 香山 美子(著) ひさかたチャイルド
うさぎさんが椅子を作った「どうぞのいす」と看板を立てた。そこへ、ろばさんがどんぐりを置いておくと…。「どうぞ」のリレーが思いやりを育む絵本。読みきかせや舞台でも大人気の一冊。



情感豊かな絵で表現された世界

手ぶくろを買って 新美 南吉(著) 偕成社
冷たい雪で牡丹色になった子狐の手を見て、母狐は毛糸の手袋を買ってやろうと思った。その夜、母狐は子狐の片手を人の手にかえ、銅貨をにぎらせ「かならず人間の手のほうをささだすんだよ」とよくよく言いふくめてまちへ送り出した。

文化のタカラ

～日本で最も豊かな隠れ里の歴史～

Vol.7
番外編

本町に刻まれる薩軍と官軍の戦いの歴史

～情報を探しています～

ことしは国内最後の内戦といわれた西南戦争から140年。来年、NHK大河ドラマとして「西郷どん（せごどん）」が放送されます。九州各県でも戦闘が行われ、特に熊本では最大の激戦地となった田原坂、西郷隆盛に「官軍に負けたのではない、清正公に負けたのだ」といわしめた熊本城があり、球磨地域でも田原坂の戦いの後、薩軍が33日間本陣を置いた永国寺があります。

本町を含めた奥球磨でも明治10年5月下旬から7月上旬に戦闘が

行われ、今もその痕跡が見られます。現在も横谷峠から花立山にかけての尾根沿いには塹壕（兵士が銃撃や砲撃から身を守るために使った穴や溝）が残されていて、陸軍の記録には戦線から下がってきた負傷兵の応急救護を行う場所として「湯ノ前」「猪鹿倉」「横谷」の地名が見られます。

教育委員会では薩軍・官軍の情報を持っている人を探しています。心当たりのある人はぜひご連絡ください。(0966-43-2050)



1 横谷峠の塹壕（実線は壕（溝）部分、破線は胸壁（土塁）部分）
2 西南戦争で使われた小銃弾。スナイデル銃弾は田原坂、ほかは横谷付近で見つかったもの

Culture+ 城泉寺の仏像制作状況をレポート

像のゆがみを抑える技術

今回も、私が模刻している城泉寺阿彌陀堂の勢至菩薩像の制作状況をお伝えします。

水粘土で作った試作像は制作中に使うため、保存性の高い「石こう」に置き換えます。この試作像を参考にしながら、ノミなどの彫刻用刃物を使って、ヒノキの角材から大まかな形を彫り出します。勢至菩薩像は、衣紋が複雑なので、彫り損じが無いように慎重に進めます。粗彫りがある程度進んだら、乾燥などで像のゆがみを防ぐために体幹部を前後に割ります。初めにナタを頭頂部に打ち込み、割るためのあたりをつけます。あたりをつけた部分に木製のくさびを打ち込み、繊維に沿って

まっすぐに割れるヒノキの性質を利用して、木材を割ります。前後に割ったあとは、像の内側をえぐって空洞にします。全体的に1センチほど厚みを残して、貫通しないように気をつけて彫ります。こうすることで本体を軽量化し、木の歪みも抑えられます。



1



2



3

1 保存性の高い石こうでできている試作像 2 ゆがみを抑え、軽量化するために像の内側をえぐって空洞にします 3 像に木製のくさびを打ち込んで木材を割っています

なかお りんこ
中尾 綾子さん
(28=東京藝術大大学院)



Culture+

非常時の活動スムーズに 災害ボランティアセンター設置訓練



付せんを使った受付で素早い対応を心がけた職員

球磨ブロック社会福祉協議会の災害ボランティアセンター設置訓練が8月26日に高齢者生活福祉センター「湯愛」で行われ、人吉球磨の社協職員や住民ら約230人が参加し、災害時のボランティア受け入れ態勢の確認と炊き出しなどの体験を行いました。

訓練は災害時の応援協定を結んでいる人吉球磨10市町村の社協職員の連携力や能力を高めようという行われ、7回目。今回は、大雨によ

る被害で土砂崩れや川のはん濫などが起きてボランティアを受け入れたことを想定しました。

ボランティアの受け付けでは、熊本地震時に益城町で活用された、付せんを使った手法が取り入れられ、短い時間で受け付けを済ませていました。その後は、本町の社協職員や応援職員が連携して、住民が演じるボランティア参加者へ「被災者に寄り添う気持ちで」「プライバシーを守る」など活動

の注意事項や被災者の要望を説明。それぞれ活動する人を決めて、必要な資材や車両を受け取るブースへ誘導しました。

炊き出しでは地域婦人会らが非常用保存食の「アルファ米」とフリーズドライの豚汁を300食作成。同時に設置された足湯コーナーでは傾聴ボランティアと湯前中学校の生徒が会話やマッサージをしながら、被災者役の不安を和らげていました。

1 地元職員と応援職員も連携を深めた 2 ボランティアの説明を受ける参加者 3 傾聴ボランティアと湯前中生徒がマッサージと会話で被災者役の不安を和らげた 4 300食の炊き出しを作った婦人会員ら



1



2



3



4

戸籍の窓

たんじょうおめでとう
いしい ゆうすけ 保護者名
石井 佑典 崇雄 (上里1)

ご冥福をお祈りします
上米良 嘉正 (古城)
吉田 長 (浅鹿野)
上田 節子 (野中田1)
西 スミ (中里2)
彦田 トクノ (浜川)
山浦 幸 (下村)

香典返し
松永 シマエ (下染田)
新村 フミ子 (馬場)
吉田 満 (浅鹿野)
上田 東雄 (野中田1)
加藤 アサコ (多良木町)

H29.8.1 ~ H29.8.31

ひとの動き

(H29.8.31)

男性 1882 人
女性 2152 人
計 4034 人
世帯数 1633 戸

今月の行事予定 Calendar 10

※各地区の健康相談は各地区の公民館で開催
※行事は9月22日時点。場合によっては変更になることがあります

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
1 湯前小学校運動会 8:30~ 湯前小グラウンド	2 健康相談 9:00~ 保健センター	3 いきいきかようクラブ 13:30~ 保健センター	4	5 検診 (6カ月児12:50~ 3カ月児13:00~) 多良木保健センター B&Gベースアップ教室 19:00~ B&G体育館	6	7 村枝賢一・森真理 漫画教室 13:30~ 村枝アトリエ
8 町民体育祭 8:30~ 町民グラウンド	9 体育の日 湯前小4年生 通学合宿 正午~ 改善センター (9日~10日)	10 いきいきかようクラブ 13:30~ 保健センター 中猪健康相談 13:30~	11	12 B&Gベースアップ教室 19:00~ B&G体育館	13 旬報配布	14
15 慈光こども園 運動会 9:00~ 湯前小体育館	16 健康相談 9:00~ 保健センター	17 減塩教室 9:30~ 検診(1歳6カ月、 3歳、5歳児) 13:00~ いきいきかようクラブ 13:30~ すべて保健センター	18	19 B&Gベースアップ教室 19:00~ B&G体育館	20 浅鹿野健康相談 13:30~	21 JTの森 10:20~ 観光案内人 モニターツアー 9:30~満~とびあ発
22	23	24 いきいきかようクラブ 13:30~ 保健センター	25	26	27	28
29	30 健康相談 9:00~ 保健センター	31 いきいきかようクラブ 13:30~ 保健センター 広報・旬報配布	1	2	3	4

Dietary habits

食生活

緑茶で心も体もリフレッシュ

管理栄養士 田中 朋子

温かい飲み物がおいしい季節。緑茶は心や体のリフレッシュに役立ちます。今回は緑茶の栄養素を紹介します。

カテキン

多く含むお茶：煎茶

ポリフェノールの一種で緑茶の苦みのもと。殺菌作用があるので口の中をきれいにしたたり、虫歯や口臭を抑える手助けをしたりします。

ポイント

カテキンは80度以上の高温のお湯を入れることで多く抽出されます。

100mlあたりのカフェイン含有目安量

玉露	160mg
紅茶	50mg
コーヒー	40mg
煎茶・ほうじ茶	20~30mg
インスタントコーヒー	20mg
ウーロン茶	20mg
番茶・玄米茶	10~15mg
麦茶	0mg

テアニン

多く含むお茶：玉露、抹茶

アミノ酸の一種でお茶のうま味や甘みのもと。ストレスを和らげる働きがあります。

ポイント

テアニンは50~60度程度の低温のお湯でいれるとより多く抽出されます。

緑茶は昼間、湯のみ3~4杯程度をめやすに…

緑茶に含まれるカフェインには体を刺激し興奮させる働きがあります。寝る前に飲むことは控えましょう。



Health

保健師だより

健康寿命を延ばす、3つのスローガン

保健師 中西 博子

健康寿命は健康上問題なく生活することのできる期間です。平成27年度のアンケートでは本町の健康寿命は男性が67.9歳、女性が69.1歳となっています。平均寿命と健康寿命の差は男性で12.5歳、女性で18歳あり、この差を少なくすることが大切です。10月は何事にも取り組むに最適な季節。「健康寿命を延ばそう」をスローガンに3つのことに取り組んでみましょう。

適度な運動



「毎日プラス10分の運動」

運動時の早歩き・庭いじりや掃除など生活の中で体の動きを増やす
1日あと1000歩、歩く

適切な食生活



「毎日プラス一皿の野菜」

1日あと70gの野菜を増やす

禁煙



「たばこの煙をなくす」

たばこを吸うことは健康を損い、肌の美しさや若々しさを失います



健診・検診の受診



定期的に検診を受診して自分を知りましょう

【引用・参考】厚生労働省ホームページ

新しく隊員の仲間になりました!

(ゆる〜く近況報告)

こんにちは! 9月1日から地域おこし協力隊で活動している椎葉賢也(23=田上)です。湯前生まれ湯前育ちで、南稜高校畜産専攻を卒業後、愛知県で自動車関係の工場、京都府嵐山で人力車の仕事をして湯前に帰ってきました。湯前にいるときは「何もない」と感じていましたが、町外に出たからは自然や暮らしている人が湯前の良いところだと帰郷するたびに実感していました。皆さんと一緒に励んでいきたいと思うので、よろしくお願ひします!! (椎葉)



人力車を引いていたときのような元気で頑張ります!

「ゆのまえかじり」はこちらから!



あっち?それともこっち? 町内を散策し、馬場区を歩いていると分かれ道で気になるものを発見。赤く塗られた板に白い文字。よく見ると、馬場稲荷神社までの道のりを案内する手作り看板でした。まず目に飛び込んできたのは手の絵。「何で手の絵なのだろう...?」と思ひ、文字を読んでみると「こっちもあっちも行かれます」と書いてありました。「行かれます」と方言が出ているところに惹かれ、早速「こっち(右)に進んでみました。細い道を進むと、広い道路に出て左右のどちらかにしか行くことができない交差点。まっすぐ前を見ると赤い看板が! なんと「馬場稲荷神社「こっち」

です」と書かれているではありませんか! 教えてもらったとおりに進み、無事に馬場稲荷神社に着きました。もしかして...と思ひ、最初に見つけた看板の場所に戻って「あっち」(左)にも進んでみると、さつきと同じように突き当たりで赤い看板。今度は「馬場稲荷神社「あっち」です」の文字。進む方によって、あっちとこっちを言い換えているところが気に入りました! シンプルで分かりやすい、ちょっと変わった道しるべが町内にあります。行きたい場所までの道のりを知っていると、なかなか気づきませんが、町にある道しるべを待ち合わせ場所や、人に道を説明するときの目印にしてみてもどうでしょうか?



1 方言交じりの分かりやすい看板。ちょっとした工夫がとても気に入りました 2 あっちの方に行ってみるとちゃんと「あっち」と書いてある2枚目の看板がありました 3 手書きで書かれている看板。町内にはほかにも目を引く看板があります



道ば教えてくだーい!

朝晩に聞こえていたセミの合唱が、秋の虫の声になってきました。静かに優しく鳴く秋の虫の声は、涼しさを感じさせてくれます。これから少しずつ秋色に変わる湯前が楽しみです。皆さんはもう秋を見つけていますか?

地域おこし協力隊's eye アイ

隊員「目線」でレポート

今月のリポーター
しいば けんや
椎葉 賢也



Communication

Nice Smile!

今月のゆのまえがお!



ご近所付き合いを大切にしている二人

今月のえがおは...

たにがわ よしこ
谷川 好子さん (60=浅鹿野) ※右
いんどう ひふみ
犬童 一二美さん (56=浅鹿野)

【ひとこと】

「山と星がきれいなことが自慢です!!」

「笑顔がすてき」「何かPRしたい」などたくさんの人を待っています!
(総務課 地域おこし協力隊まで TEL 0966-43-4111)

Editorial note

編集後記

▼今回はふるさと納税と生産者を特集。取材中、生産者の思いや商品のこだわりを聞き、魅力にふれました。湯前の人柄を表すかのように、どの商品も思いやりやさしさにあふれ、それぞれのこだわりも人一倍。「湯前ってすごい!」とあらためて誇りに思いました。

▼史上初、日本の全土に上陸した台風18号。幸いにも本町では、大きな被害はありませんでしたが、各地で土砂崩れや浸水被害などが発生し死者も出ています。私の家でも食料を買い足したり、壁を補強したりと対策を行いました。秋は台風が日本に接近しやすい季節。早めの避難や備えで、被害を小さくしていきましょう。

▼いつもより少し遅れて彼岸花が咲き始め、秋がやってきました。私は過ごしやすかったので一番好きな季節なのですが、朝晩の急な冷え込みで体調が崩れがち(私のまわりも)…。味覚や景色。いろんな秋を楽しむためにも、体調は万全に整えたいものですね。(◎)



秋の訪れを見たくて伝えてくれる彼岸花。撮影したのは9月20日ですが、誌面が発行するころには満開となるでしょうか?

Community

かたってみらんね?

地域 婦人会だより

湯前町地域婦人会 会長 橋田實子

8月26日(土) 災害ボランティアセンター設置訓練

炊き出しに6人が参加しました。ことしは例年と違い、お湯を入れてご飯になる「アルファ米」の炊き出しと缶入りの豚汁を300食用意しました。

9月10日(日) 第67回湯前町敬老会

対象者950人のうち約300人が参加。アトラクションに綾小路きみまねさんを招き、トークショーで参加者にたくさん笑っていただきました。

9月22日(金) 秋の全国交通安全運動4カ町村合同出発式

これから

9月30日(土) 上球磨交通安全母の会ビーチボールバレー大会

10月9日(月)、10日(火) 湯前小学校4年生通学合宿

婦人会で朝食を作ります

10月19日(木) 農芸学院運動会

11月3日(金) 町文化祭協力

11月12日(日) 県婦連ミニバレーボール大会



1 災害ボランティアセンター設置訓練ではアルファ米とフリーズドライの豚汁を炊き出し 2 たくさんの町民の皆さんに集まってもらいました

この人に注目!

服部美来さん

湯前小6年生



本の世界に引き込んだ発表 家族の支え合いを妹へつなぐ——

フォーカス
FOCUS
Focus on hot human.

第33回人吉球磨児童による童話発表大会がこのほど人吉市カルチャーパレスホールで開かれ、湯前小学校の服部美来さん(同校6年=野中田3)が審査員賞に選ばれた。

大会は人吉市教育委員会が主催し、1～6年生まで、各学校の代表者29人が出場。うち最優秀賞2人、審査員賞は6人。1、2年生は5分以内、3～6年生は7分以内で発表し、内容はすべて暗記する。

6月の校内童話発表会で湯前小の代表になった服部さんは水俣病の家族について書かれた「みなまたの木」(著:三枝

三七子)を発表した。舞台上での緊張をほぐしたのは目の前にいた家族や先生。服部さんは練習のように、ゆっくり、はっきりと発表。水俣病患者とその家族の悲しみや怒り、一場面ずつ、登場人物の気持ちを考えて読み方を工夫した。学校代表として挑んだ初めての舞台。見事会場を魅了できた。「聞いてくれている人を話の中へ連れていけるように発表することが目標だった。今まで練習に付き合ってくれた、みんなの期待に応えることができよかった」と服部さんは笑顔で話した。

「熊本で起きた話で、テーマが

家族の本を探していた。昨年、授業で水俣病のことを勉強したので、多くの人に知ってもらいたいという気持ちが強くなった」と本を選び、6月から授業の合間や自宅で毎日練習した。練習を支えてくれたのは母。毎日タイムを計ったり、言葉がつまったときには読み方の手本を見せてくれたりした。

服部さんは「小学1年生の妹がいる。母が私にしてくれたように、私も妹の練習に付き合ったり、アドバイスをしたりして支えたい」と笑顔。発表で学んだ家族の支え合いを次は妹へつなぐ——。